

埼玉上尾メディックスとの 連携協定について

岩手県バレーボール協会と埼玉上尾メディックスは8月8日、紫波町オガールアリーナでセカンドホームゲームの開催地として連携協定を結びました。調印記者会見には埼玉上尾メディックスから中島里史部長、アントニオマルコス レルバッキ監督、岩手県バレーボール協会から山形守平会長、千葉智行副会長が出席しました。



これまで東北ブロック内でホームタウンの試合を行っていない岩手県でのホームゲーム実施に向け、岩手県バレーボール協会との間に岩手県内会場をセカンドホームとする提携契約を締結しました。同チームは上尾市、さいたま市などでホームゲームを開催し、2021-22シーズンは8会場で16試合の予定です。



今回の連携協定により同チームは今シーズンより4年間、岩手県内でホームゲームを開催することとなります。今年度は過去のVリーグ大会開催実績等を勘案し、一関市東山総合体育館で10月23日(土)・24日(日)昨シーズンリーグ2連覇を果たしたJTマーヴェラスと対戦します。

なお、埼玉上尾メディックスは12日までオガールアリーナで強化合宿を行っていました。